

第一二九回

川崎市定期能



能「竹生島」山本順之
(撮影:吉越研)



能「経正」鶴澤久
(撮影:前島写真店)

第一部
12時30分開場
13時00分開演

狂言
瓜盗人
【うりぬすびと】

野村 太一郎 (和泉流)

能
経正
替之型
【つねまさかえのかた】

鶴澤 久 (観世流鍊仙会)

第二部
15時30分開場
16時00分開演

狂言
水汲
【みずくみ】

野村 裕基 (和泉流)

能
竹生島
【たけうぶしま】

観世 鍊之丞 (観世流鍊仙会)

2023年8月5日(土) 会場:川崎能楽堂

入場料(全席指定):各部 正面席 4,500円、脇正面・中正面席 4,000円

U25 3,000円 ※脇正面、中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方。来場時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

■チケット発売 2023年6月26日(月)10:00より発売(先着順)

■販売方法
*取扱い座席は
全て共通です。

電話申込

- ①川崎能楽堂 TEL.044-222-7995(10:00~17:00、水曜定休日)
- ②カンフェティ TEL.0120-240-540(平日10:00~18:00)
- *②は席種のみ指定可。座席選択はできません。
- *①・②共にセブンイレブンでの支払・引取、またサービス利用料(¥110/枚)、発券手数料(¥220/枚)が掛かります。

インターネット
申込

カンフェティ(GETTIIS) https://confetti-web.com/kbz_noh129
*GETTIISへの事前会員登録が必要です(登録無料、カンフェティ会員とは異なります)。
*クレジット決済・セブンイレブン支払が選択でき、引取はセブンイレブンになります。
*サービス利用料(¥110/枚)、発券手数料(¥220/枚)が掛かります。

窓口申込
※6月27日から

川崎能楽堂 川崎市川崎区日進町1-37(10:00~17:00、水曜定休日)
*残数があれば6月27日(火)10:00より販売いたします。*支払いは現金のみになります。



カンフェティ



川崎市文化財団

主催 公益財団法人 川崎市文化財団 〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366 FAX.044-544-9647

後援 「音楽のまち・かわさき」推進協議会

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、都合により、日時・内容・出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。

定期能をより楽しむための 事前講座

- ◆日時:2023年7月29日(土)13:00~15:00 ◆会場:川崎能楽堂
- ◆講師:鶴澤 久(観世流鍊仙会・シテ方)、宮崎真帆(法政大学能楽研究所兼任所員、コロンビア大学院生)
- ◆定員:148名(先着順) ◆料金:無料

*第129回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。
*受講をご希望の方はチケットご購入の際にお申し出いただくか申込フォームよりお申し込みください。



事前講座申込フォーム

狂言 瓜盗人

シテ瓜盗人 野村太一郎

アド畑主 野村 裕基

能 経 正 替之型

シテ平経正 鶴澤 久

ワキ僧都行慶 大日方 寛

後見 安藤 貴康

谷本 健吾

地謡 小早川泰輝 長山 桂三

武田 祥照 柴田 稔

観世 淳夫 馬野 正基

飯富 孔明 藤田 貴寛

小鼓 飯富 孔明 藤田 貴寛

狂言 瓜盗人【うりぬすびと】

百姓は、丹精こめて作った瓜を鳥獣に荒らされないように、かかしを作っておきます。その夜、瓜盗人が瓜を盗みにやつてきます。垣根を壊し、瓜畑に入って転がりながら瓜をとりはじめますが、かかしを百姓だと思い込み、びっくりして平伏します。ところがあやまって相手は何も言わないので、不審に思つてよくよく見ればなんと、かかしです。腹を立てた盗人は、かかしを壊して帰ります。

翌日見廻りに来た百姓は瓜畑が散々に荒らされているのを見て激怒し、自分がかかしになりすまして盗人を待ちます。そうとは知らぬ盗人は、かかしを相手に村の祭礼で罪人が鬼に責められる場面の稽古をはじめますが…。

能 経正【つねまさかえのかた】

替之型

京都の仁和寺、御室御所の守覚法親王は、琵琶の名手である平経正を、少年の頃から寵愛されていました。ところが、このたびの一ノ谷での源平の合戦で、経正が討たれたので、生前、彼にお預けになったことのある「青山」という銘のある琵琶の名器を、仏前に供え、管絃講を催して回向するように、行慶僧都に仰せつけになります。行慶は、管絃を奏する人びとを集めて法事を行います。するとその夜更け、経正の亡霊が幻のように現れ、御弔いの有難さにこまで参つたのであると、僧都に声をかけます。そして、手向けられた琵琶をなつかしく弾き、夜遊の舞を舞つて興じます。しかしそれも束の間、やがて修羅道での苦しみに襲われ、憤怒の思いに戦う自分の姿を恥じ、灯火を吹き消して闇の中に消え失せます。

狂言 水汲

シテ新発意 野村 裕基

アドいちゃ 内藤 連

能 竹生鳥 観世鏡之丞

後ツレ浦ノ女 鶴澤 光

後ツレ弁財天 龍神

後シテ龍神 観世鏡之丞

ワキ臣下 大日方 寛

ワキツレ従臣 野口 能弘

後見 谷本 健吾

鶴澤 久

地謡 武田 崇史 観世 淳夫

武田 祥照 馬野 正基

安藤 貴康 長山 桂三

飯富 孔明 藤田 貴寛

小鼓 飯富 孔明 藤田 貴寛

太鼓 小寺真佐人

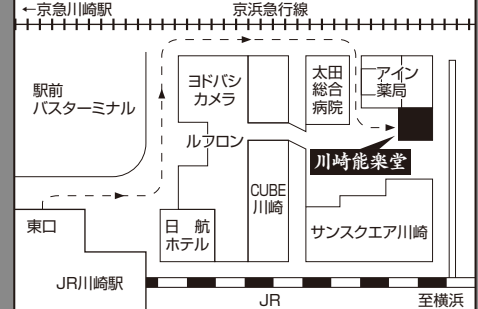
狂言 水汲【みずくみ】

若い娘(いちゃ)が野中の清水で洗濯をしていると、娘に想いを寄せている新発意(出家したばかりの若僧)がお茶の水を汲みに来ます。新発意は忍び足で近寄り、目隠しをして恋歌を謡います。突き放す娘に、新発意は水汲みと小歌を謡うよう頼みます。娘は水を汲みながら小歌を謡い、やがて二人で掛け合いの謡となりますが…。

能 竹生鳥【ちくぶしま】

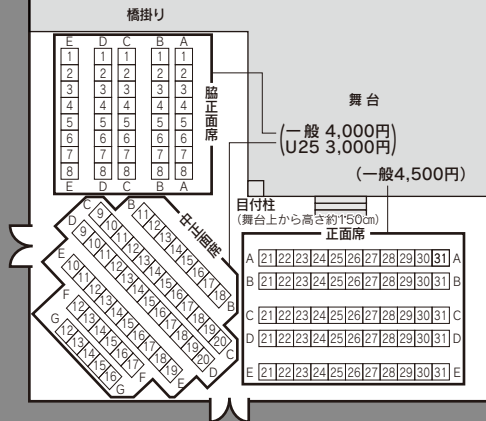
醍醐天皇に仕える臣下が、竹生鳥明神に参詣しようと、琵琶湖畔までやってきます。ちょうど、漁翁が若い女を伴つて釣り船を出しているのので、声をかけて便船を頼みます。漁翁は快く彼を船に乗せ、のどかな浦々の景色を楽しみながら、竹生鳥に向かいます。臣下は、つれの女も一緒に来るので、この鳥は女人禁制と聞いているが、と問うと、漁翁と女は、弁財天は女性の神であるから女人を分け隔てはしないと、この鳥の明神の由来を語ります。やがて二人は、実は人間ではないといつて女は社殿の扉の内に入り、漁翁は波間に姿を消します。(中入り)

しばらくすると、社殿が鳴動して、弁財天が出現し舞を舞います。続いて龍神が水中より出現して臣下に金銀珠玉を捧げ、激しい舞を見せます。そして、弁財天と龍神は、国土鎮護を約束し、弁財天は再び社殿に入り、龍神は湖水へと飛んで入ります。



JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂(9:00~17:00※水曜定休日)
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995

川崎能楽堂座席表(148席)



※U25券は臨正面席・中正面席のみ選択可。
※C列、E列は前の列より一段高くなっています。

次回公演のお知らせ

第15回 狂言全集
開催日:2023年10月14日(土)
会場:川崎能楽堂
狂言「二人袴」山本深太郎、狂言「舟船」山本東次郎、狂言「鬼の継子」山本則重、狂言のお話 山本東次郎
チケット発売:9月11日(月)より川崎能楽堂にて発売予定(先着順)

第130回川崎市定期能
~観世流梅若会~
開催日:2023年12月9日(土)
会場:川崎能楽堂
能「景清」梅若桜雪
能「天鼓」角当行雄、角当直隆
狂言未定
チケット発売:11月6日(月)より川崎能楽堂にて発売予定(先着順)

※都合により日時、内容、出演者等変更になる場合もございますので予めご了承ください。